

しできる機会が増えれば、私達の世代や女性の投票率も上がり、他人事ではない政治が見えてくると思います。

## 柳橋 市太郎 さん



先ほどの話だと、社会では男性優位との話でしたが、今大学でサークルをやっているんですが、代表も普通に女性がやっているし、メンバーも半々で、別に男性の意見が団体全体の意見になるというこはまずありません。社会より僕たち若者の方が、よっぽど民主的だと思いました。最近読んだ本で、経団連の偉い方がこれからの人材として、エリートとプロフェッショナルと使い捨てがきく人材、要は流動的な人材をつくっていくというのを決めたらしいんですよ。すると女性が使い捨ての方にあてはめられる可能性が高い。子育てがあっても普通に働けるような社会保障や別姓の問題が解決すれば、女性が使い捨てのところにあてはめられずに、制度的に変わっていくのかなと思いました。僕は、若者の力をもっと世の中に伝えていくというサークル活動をしていて、若者エンパワメント委員会というところで活動しています。その活動の一環としてスウェーデンを視察したんですが、まず根本にあるのは平等という考え方です。女性も若者も社会を構成している一員です。表面的な政策ではなく、根本のところこういう考えを大事にした上でもっと政策を考えていってほしいと思います。

## 倉田 笑莉 さん



私は、政治経済が高校生の時に勉強していて一番面白いと感じていました。それは自分の生活にすごく密接に関わっているからです。政治経済分野の学歴主義はすごくおかしいと思っています。社会全体のこと、みんなの事を考えるのが政治だと思っているので、エリートだけが政治を語る今の状況はおかしいと思います。

先ほどスウェーデンの話が出ましたが、スウェーデンでは夕方から議会が開催されたりするそうです。他の仕事をしていて夕方から議会に出るとか、子どもを連れて議会に行くとか。議事を誰でも来やすい話し合いの場にしてほしいと思っています。声が大きい人だけが話せる議会ではなく、声の小さな人もみんなが話せるような工夫をした議会を作っていってほしいです。

**ここから、大学生の方のお話を聞いての感想、あるいはどう受け止めたかを参加者に伺いました。**

**円氏：**今社会に出ていくと、まだまだ家父長制といって、男性が強いんです。今あなたたちが学んでいる姿をそのまま社会に持って行ってほしいと思います。先ほど、政治の話をするとう暗くなったり、ざわっとするという話でしたがなぜなのでしょう。

**笠井さん：**なぜっていうか、もう染みついてしまっています。例えば大きな駅とかで護憲運動

とかする人たちがいるじゃないですか。選挙カーとか。そういうものへの抵抗感がベースにあると思います。宗教への抵抗感と似ているものがあります。

参加者Aさん：話を伺って一番感じたことは、私達大人が皆さんが生きやすい社会を作れなかったことを非常に思います。私はそのために市民運動をしてきましたが、変わったこともあります。またまだ根強く人の心に住みついた風習や社会通念そういったものを打破できません。



参加者Bさん：私の大学時代は安保闘争があり、安保闘争で初めて政治って大事だなと感じました。先ほど、高齢者が優遇されているといった話がありましたが、私はそれには異論があります。実際に困っている人が恩恵を受けておりません。身よりのない人にヘルパーが来ても、時間制で1時間分の仕事をするだけで、その人が本当に必要なものはやっていけないのです。

NHKなどでの政権の世論調査で、支持者が45%とか出てくる。それは、他に人がいないから。毎日テレビに安倍さんしか出てきません。マスメディアへの頻出度でみんな決めてしまいます。あれを何とか利用できないかと思ってます。

福原さんの友人：今日は飛び入り参加でしたが、共感するところもあり、色々と考えさせられました。昔からの習慣で、男の人が社長



にいたりするイメージを変えていかないといけないと思いました。

倉部氏(菊川市議会議員)：皆さんが政治の事を考えていらっしゃるということで、大変感心しました。学生の頃は、投票には行っても政治などに興味もなく過ごしておりました。皆さんが大人になっていく中で、社会の仕組みをもっと変えていくように声をしっかりあげていただけると、どんどん変わっていくのではないかと思います。地方議員は、若い方、女性が出にくいという仕組みがあります。壁がたくさんあるのが現実ですので、やはり仕組みから変えていかないといけないと思いました。



御殿場市元市議：今の政策は高齢者の方に偏っている、重視されているという意見に、確かにそうだと受け止めました。この先の日本の未来を担ってもらうにはどうしたらいいかということを考えますと、やはり若い方同士で協力してなるべく立候補していただく。ご自分で出来なければ、若い方のための政策を掲げている議員さんに投票して、1人でも増やし、そして徹底的に支援していく。思いついたのはこの方法です。でも、皆さんのご意見は刺激的でとても頼もしいと嬉しくなりました。



参加者Cさん：湖西市議会は今18人中、女性議員が4人おります。しかし4人で一緒になってやるということはあまりありません。ひとつ憂いているのは、議



員に市の職員OBがたくさんなっていることで、市の施策をチェックするのが市議会議員だと思っております。市の職員の退職後の再就職先みたいな感じに思えて仕方ありません。

参加者Dさん：私は専業主婦でしたが、同じような専業主婦が多い世代ですので、女性が差別されているということをあまり感じずに子育てをしてきました。今の若い人たちはあまり男女の区別をせず、人間として付き合っている人が多いと思うので、若い人たちがこれから主導権を握って世の中を変えていけばいいのではと思います。若い人たちが自分たちの生きやすさを自分たちで取り込むためには、やはり選挙に行って自分たちの意見を通すよう活動するということが必要だと思います。



参加者Eさん：私も同じように専業主婦でしたが、女性は決定権を持たなければ力が持てないということを子育てを通して知りました。これからの人たちは、未来に向けて拓かれていくと期待しておりますので、頑張っていたきたいと思います。



### 【円より子氏 まとめ】

日本では性別役割分業です。男性の育児休業取得率がとても低い。いくら法案が出来てもなかなか実現しません。社会に出ると、学生時代と全然違います。私達の時代は、生徒会長は男性、副会長は女性しかなれないと決まってきました。それが今はすごく学校が変わりました。

しかし、社会に出ると長時間労働は男性、育児は女性と突然変わってしまいます。この固定的な性別役割分業を変えなくてはなりません。もっと女性や高齢者が働ける人、働きたい人は

働くようなそんな社会にしていかななくてはけません。日本の国をどう富ませるか。それが常に政治家や経済界の人たちの一番の優先事項だから、個人じゃないんです。高齢者も若者も大切になんかされていません。そこをちゃんと一人一人の人を大切にする。障がいを持っていようが、LGBTであろうが、一人一人の人を大切に、結婚して子供を産んでその生活を大切にできる政治をしなければいけません。



## 8. 今後の展望

5人の若者の意見を聞いただけで、政治に対する考え方がしっかりしていて将来捨てたものじゃない、希望が持てると言い切れるものではないと承知しているが、私達が先輩たちの活動を脈々と受け継ぎ、様々な場面で声を出し、法律や条例の制定等に結び付けてきたことはとても貴重なことだと思う。これからも、政治不信や政治アレルギーを払拭していかなければならない。

また、政治の場における男女共同参画の推進に寄与するため、世代間の情報共有や発信に努めていけたら、少しずつ道が開けていくと信じている。

## 9. 協働団体

静岡市女性の会連絡会

一般社団法人 大学女性協会静岡支部

## 10. その他 (アンケート結果)

《特に良かったと思う点》

- ・若い人たちの意見が聞けた点。
- ・円より子さんのスピーチに感動した。連記制の良さや「国会議員は有償のボランティア。野党でもできることはたくさんある」という言葉が印象に残った。
- ・円より子さんの視野の広い情報と経験に基づくお話と、学生さんたちの真理をついた意見。
- ・全員に発言の機会があった点。
- ・円さんのお話にも勇気もらった。

《改善した方が良い点》

- ・チラシをもう少し色々な所においた方が良い。
- ・ワークショップ的要素があったらいいと思った。
- ・男性の意見をもう少し多く聞きたい。
- ・話し合いの時間をもう少し欲しい。
- ・参加者が少なかったのは残念。もっと多くの人に参加してほしい。
- ・ディベートという点では少し不足と思う。もう少し自由に話したかった。
- ・もう少し参加者を増やす努力が必要ではないか。

《このシンポジウムについて何でも》

- ・みんなの意見が聞いて面白かった。前向きな気持ちになった。
- ・政治家の方や地域の方の生の声をたくさん聞けて良かった。やはり一人一人の話を聞くのは、それぞれのドラマが垣間見えて興味深い。

## 11. おわりに

私達の第1弾の企画から早3年。政治分野において何か変わっただろうか。目に見えて変わったと実感できることはないように思う。安倍内閣は組閣後、女性閣僚がたった1人になってしまった。それに対して安倍首相は「片山さつき

議員には、1人で2人分、3人分の仕事をしていただく。その能力がある方だ」と述べた。働き方改革も進む中、何たる逆行する発言だろうか。

来春は統一地方選挙。女性議員の増加を期待し、また政治分野での男女共同参画推進法の施行がもたらす変化に期待してこの企画「あなた出番ですよ！第2弾」を計画したのだが、果たしてどうだろうか。講師の円より子氏の選挙の仕組み改革も必要かもしれない。連記制やクォータ制（性別割当制）、パリテ（男女同数原則）などの導入。今後、大いに議論すべきテーマであると思う。

大学生の政治に寄せる思い。実にしっかりしているではないか。これから社会に出て、社会の慣習に飲み込まれない様、その思いを持ち続けてほしい。若者の声に、未来に期待できると確信できた。

政治分野における男女平等。数を増やすための選挙法の改正もさることながら、来春までには時間が足りない。選ぶ方の意識改革と共に、選ばれる人を増やしていかななくてはならない。前回同様、「あなた、出番ですよ！」みんなで可能性を信じ、女性の背中を押してあげようではないか。

(文責 佐藤成子)





紙面の関係で、一部しか紹介できていません。  
完成版をご希望の方はご連絡ください。

【報告書】

『あなた出番ですよ！第2弾～政治分野における男女共同参画推進法を活かす～』

【発行】

NPO 法人 世界女性会議ネットワーク静岡  
代表 守屋 秀子

【事務局】

〒 422-8046  
静岡市駿河区中島 430-9-305 守屋方  
TEL：054-281-4078

チラシ

あざれあ地域協働事業

法律制定の意義？

女性議員を増やす秘策を探る

## あなた 出番ですよ!! 第2弾

政治分野の男女共同参画推進法を活かす!!

今こそ・実践あるのみ!

議員立法の「政治分野の男女共同参画推進法」が全会一致で成立。この法律を実現可能なものにしていくのは、一人一人の意識改革と言えます。前回に引き続き、【あなた】の行動、第一歩を期待して、何をどうすれば、この法律を生きたものにできるかを、みんなで考えたいと思います。世代間交流も含めて、政治の分野でいかに女性の力を発揮していくか。経験談も伺いそれらを次世代へ繋げていきたいと思います。さあ～、あなたも、この輪の中に、加わって下さい!!

日 時： 2018年10月6日(土) 13:30～16:00  
 会 場： 静岡風男女共同参画センター（あざれあ）5階502会議室  
 申し込み： 090-9223-2837（守屋）090-4790-7698（佐藤）  
 ◆当日直接会場にお越しただいてのご参加も大歓迎!◆



「基調スピーチ」  
**円(まだか)より子 さん**  
**『政治分野での女性の力』**  
 元参議院議員  
 女性のための政治スクール校長  
 横須賀生まれ、津田塾大学英文学科卒業、ジャパンタイムズ編集局を経てフリージャーナリストに。  
 著書 『女と通貨と政治文化=失われた 20 年をこえて』第一法規『子どもとキャリアどちらもほしい』ミネルヴァ書房 他

**み・ん・な・で！ 語・り・場**  
 «まずは、私の主張» 各大学の学生の声を聴こう!!  
 その後はフリーに、参加者全員参加で、わいわいがやがや政治を語る

主催：NPO法人 世界女性会議ネットワーク静岡  
 協働団体：静岡市女性の会連絡会・一般社団法人 大学女性協会静岡支部